

地域連携

秋田県男鹿市コミュニティデザイン調査研究報告

鍵 屋 一 ・ 鶴 理 恵 子

Community Design Research Report for Akita prefecture Oga city

Hajime KAGIYA ・ Rieko TSURU

平成27年12月、秋田県男鹿市と跡見学園女子大は、地域連携協定を締結した。その活動の一環として、平成28年9月19日から23日の5日間、秋田県男鹿市において、男鹿市の地域活性化、地域住民及び大学生の人材育成、大学教員の調査研究を目的として、コミュニティデザイン学科1年生7名と観光マネジメント学科3年生1名、計8名がコミュニティデザイン調査研究を行ったので報告する。

1. 参加者

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 鶴理恵子教授、鍵屋一教授
 跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科3年 今友里
 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科1年
 石神未奈子、金子綾香、児玉麻衣、長濱美帆、前田穂奈実、山崎葉那、渡辺朱音

2. 期間 平成28年9月19日から23日（5日間）

3. 場所 秋田県男鹿市内

4. 活動概要

【9月19日（月・休）】

8時 秋田ビューホテル1階集合
 レンタカーで大潟村、宮沢海岸、寒風山を見学
 13時 ジオガイドによるジオパーク案内（鶴の崎海岸、入道岬、八望台）
 15時15分 なまはげ館、真山伝承館を見学
 17時 雄山閣着 18時 夕食
 19時 鍵屋からレクチャー、振り返りミーティング

【9月20日（火）】

10時 渡部男鹿市長を表敬訪問
 10時30分 男鹿市職員から地域、活性化政策レクチャー
 13時 男鹿市若い世代及び市職員とのワークショップ、交流（3時間）
 「テーマ」未来の男鹿市をいかにつくるか～市民と交流市民の幸福を求めて～
 16時 フルート演奏を鑑賞
 16時30分 市役所発
 19時 振り返りミーティング

【9月21日（水）】

- 9時30分 高齢者からのヒアリング（2時間程度） 北浦出張所
13時30分 婦人会からのヒアリング（2時間程度） 男鹿市役所
（子どものころの生活、地域の様子、20歳ごろの生活、地域の様子
現在の生活、地域の様子などを伺う）
16時 フルート演奏を鑑賞
16時30分 市役所発
19時 振り返りミーティング及び学生が男鹿の魅力カード作成（1人100枚、合計800枚）

【9月22日（木・休）】

- 9時 東急電鉄の防災とまちづくり講義（寿乃田正人氏）
10時 男鹿の魅力カードによるワークショップ
14時 札幌市の自転車のまちづくり講義（安江哲氏）
15時 男鹿の魅力カードによるワークショップ
18時 オートキャンプ場でバーベキュー
20時 男鹿の魅力プレゼン資料を学生が各自作成

【9月23日（金）】

- 9時 全員でプレゼン資料を作成、発表準備
13時 男鹿市長及び幹部職員へ学生プレゼンテーション「おい 男鹿！」
14時 男鹿市役所発、秋田駅経由、17時 秋田空港発

6. 具体的な成果

男鹿市役所職員、若い世代の市民、社会活動を長く続けた高齢者、及び婦人会の方が、自らの活動や思いを若い女子学生に伝えてくださった。そのうえで、女子大学生の視点で800個の男鹿の魅力を発見し、ポストイットに残した。これは、過去に例のない取り組みと思われる。また、その中からキーとなる言葉を紡ぎ、男鹿市の魅力をドラマ仕立てで作成した。また、メイキングビデオも作成し、調査研究中の状況が若い世代に伝わるようにした。





私たちのプレゼン、どうぞご覧ください。



しょっつるラーメン んめんめ！！



シャッター音が止まらない！



絵描きさん、
こっちにおいで！！



4キロは
太ってしまう
男鹿のメシ！

石焼き料理！

7000万年前からの
大地の恵み



ロマンスがありあまる入道崎



いざ！天下統一 脇本城跡



なまはげで泣いたあの頃
今はボクがなまはげだ

万体仏の祈り



受け継がれてきた方言

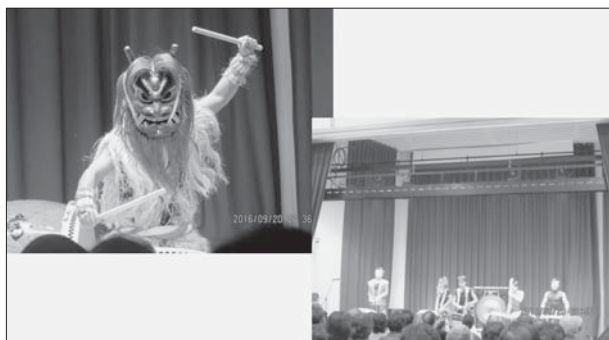
怪奇でドラマチック なまはげ



んだ。
んだ。



男鹿の魅力は
受け継がれてきた自然、文化
野菜を分け合う住民同士の
つながり



んだ。
んだ。

私たちは、男鹿サポーター





Instagram

SNSでどんどん発信

ご清聴をありがとう
ございました。
男鹿市のご発展を
お祈りいたします。

跡見学園女子大学 2016年度男鹿コミュニ
ティデザイン調査研究一同

7. 地域への還元の内容とその実施方法

9月23日、市長はじめ市役所職員等の前で800の魅力をパネルに張り出し、パワーポイントを使ってプレゼンを行った。その後、30分間ほど、市長及び市職員と熱心に質疑応答を行った。男鹿市の課題解決型ではなく、魅力増進型で調査研究を進めたことが強い関心をよんだ。作成物は男鹿市に提出し、地域の魅力増進に役立てていただく。その後、調査研究およびプレゼンの様子は秋田魁新聞にも掲載された。

この調査結果を活かし、次年度以降も引き続き、男鹿コミュニティデザイン調査を継続する予定である。

秋田河川国道事務所

魁新報 平成28年9月27日(火) 26面

都内の女子大生 フィールドワーク



「男鹿の魅力、肌で感じた」

男鹿の魅力について発表する学生たち

跡見学園女子大東京の学生8人が19日から5日間、男鹿市に滞在し、観光地を巡る住民と交流したりして男鹿の魅力に触れた。最期の23日は市役所で幹部職員らと懇話会を開き、自然や歴史文化、人々とのつながりが保たれている地域の暮らしについて、かきを感じたと報告した。

男鹿市と跡見学園女子大は昨年12月、人材育成と地域社会の発展を目的に連携協力協定を締結。協定に基づき、観光コミュニティ学部の磯屋一教授(地域防災)と男鹿市出身の若手経営者らと交流した。身11人と共に1年生7人と3年生1人が訪れ、男鹿温泉郷

観光地巡り住民と交流



に宿泊しながらフィールドワークに取り組んだ。初日の19日は、寒風山や脇本城跡、鶴ノ崎海岸入道崎、なまはげ行事の表演などを通じて男鹿の歴史の奥深さに触れた。

若手経営者らと行ったワークショップ=20日、男鹿市役所

20日は、男鹿市が重要課題に掲げる人口減少問題とその対策について市議員からレクチャーを受け、船川地区の若手経営者や地域と協力隊員と、男鹿の魅力を盛り込むワークショップを実施。30日は、市内の若手経営者らと、昔と現代の暮らしの変化について聞き取り調査した。

磯屋教授は滞在し、学生に1人当たり100枚、8人で計800枚の男鹿の魅力を拾い上げる課題を出し、最終日には800枚を整理して発表。学生は棚田が残る風景や豊かな食、地域の伝統文化を評価し、会員制交流サイトSNSを通じて、魅力を広く発信していきたいとした。

(佐藤勝)